広報　第43号
町のすがた
（10月1日現在）

人口	男	3,410人
	女	3,754人
	計	7,164人
世帯数		1,552

三島町だより

発行　昭和46年10月15日
新潟県三島郡
三島町役場
局番　025842
（代）　2221
印刷　北越印刷株式会社
長岡市福住1丁目
TEL (3) 0306

自然の恵み山の幸に
舌つづみをうつ楽しい一日

（9月29日　若返り趣味講座）

広域行政に対応した
事務機構と異動

町では去る十月一日付けで、住民サービスの向上をより効率とするため、次のように事務機構の改善と人事の異動が次のように発令されました。

事務機構としては、企画調整課が新しく設けられました。これは最近市町村行政が広域的となり事務処理も複雑多様化しておるのでこれに対応しゆく事になったものです。

総務課　課長　斎藤　栄
庶務係長　遠藤　栄助
同　関　君子
同　シズエ
同　小林　孝司
同　大滝　ヨシ
同　小黒甚五郎
財政係長　米持　昭次
係　金子久美子
税務係長　井上　勝三
係　斎藤　佐一
同　斎藤　睦郎
同　樺沢まり子
同　中野　芳美
住民課　課長　小熊　孫次
住民係長　青柳　三次
係　松井　ユリ
保健係長　片野　昇
係　帆刈　忠
同　上村フミエ
同　恭子
同　西　トク
同　片野　昇
福祉係　柳　昇
同　相田ヒデ子
同　山村　イシ
産業土木課課長　遠藤　栄門
土木係長　近藤　豊司
係　河内　孝作
係　難波　正
同　佐藤　千尋
同　古井丸保雄
同　松田　広井
同　石黒　和衛
産業係長　大滝　祐
係　古見　義男
同　木戸　保之
同　原田　洋衛
同　原　文一
同　小川　久子
企画調整課　課長　酒井鉄之助
企画係長　奈良場　一
生活係長　小熊佐太夫
係　青柳　衛
同　小熊　静子
同　斎藤　直志
同　長谷川和人
同　椛沢　巳吉
同　井海　栄一
嘱託　棚橋　均
収入役室　大矢　善子
係
議会事務局局長　井上　響秀
係　西　郁子
教育委員会（体育館）
学校教育係長　田中　昭秋
社会教育係長　青柳　昇
係　遠藤　克巳
同　北原　功玲
同　八田
同　原田　シヅ
同　難波　寅雄
日吉支所支所長　片桐　藤作
係　西原　治一
係　矢川　ミヨ
水道課　課長　岡本　正雄
係　風間　正美
同　小熊　稔
同　星野　洋一
（保育所、給食、清掃関係略）

来春の募集案内
高等職業訓練生

産業界では技術と技能の新時代を迎え、多くの技能者を必要としています。これからも産業の発展、経済の成長に伴って技能者の需要がふえ、高く評価し尊重されるようになります。

新潟総合高等職業訓練校では、来年四月入校の生徒をつぎにより募集しています。

一、募集職種と人員

（訓練期間二年）

◇鋳造科　二〇名
◇機械科
（機械専攻）　三〇名
（仕上専攻）　二五名
◇溶接科　二〇名
◇電気機器科　三〇名
◇木工科　二五名
◇機械製図科　二五名

二、応募資格

(1)、中学校、高等学校を卒業した人。（来年三月卒業見込みの人を含み、機械製図科は高卒程度の学力が必要です。

(2)、鋳造科、溶接科、電気機器科は色神が正常であることが必要です。

三、申込期間

一一月一日から一一月二日まで、学校または長岡職業安定所へお申込みください。

四、訓練終了後の状況

(1)、出身地や県内外の主要事業所に就職し、中堅幹部として活躍しています

(2)、二級技能検定（国家検定）には、実務経験一年で受験でき、終了時に技能士補の資格を与えられた人は受験のとき学科試験が免除されます。

なお、申込手続きなどくわしくは長岡職業安定所または左記へおたずねください。

（〒九四〇）
長岡市住吉三―一―一
長岡総合高等職業訓練校
電話（長岡〇二五八）
―三三―二四二〇

ポストコーナー

こんなに役立つ郵便貯金
脇野町郵便局

九十六年の間、みなさんに親しまれてきた郵便貯金は、順調な増加を続け、現在高も八兆六千億円を越える巨額に達しています。これを一万円札で積みあげると、富士山の二十二・五倍になります。

みなさんからお預かりしたこのお金は、国の財政投融資の一環として運用され公社・公団・公庫に融資されています。さらに都道府県、市町村にも融資され、上下水道や学校の建設、道路の舗装、公民館・体育館などの建設にも使われています。

また、身近なところでは中小企業金融公庫・国民金融公庫などを通じて、美容院や理髪店、商店などにも貸出されています。

郵便貯金は、住みよい町づくりなどに使われ、みなさんの暮しをより豊かに、より便利にするために、役立っています。

今年度、財政投融資の資金総額四兆二千八百四億円のうち郵便貯金の占める割合は、一兆三千五百億円で三十一・五%になっています。つまり国の行なう財政投資資金の三分の一は、郵便貯金がになっているわけです。

このうち、三島町に融資されている総額は、今年三月末現在で、一億一千五百五十三万円に達し、町民の福祉の増進に役立っています。

緑の郷土めざし
造林推進協議会が発足

森林は私たちの生活にいろいろな面で役立っています。立派な森林をつくる根本は造林です。造林をすすめ地域の振興、郷土の保全と水資源のかん養をはかりましょう。

来年度には新潟県で、全国植樹祭が開催されます。これを契機として、造林事業を強力に推進するため、三島町造林推進協議会が設置されました。

また、町民のみなさんのご理解を深め、事業の推進を効果的にすすめるために各大字の区長さんから、造林推進員になっていただきましたので、造林に関する問題、要望などは、推進員のかた、役場、あるいは森林組合にお聞かせください

なお、造林に対する補助制度などがたくさんありますので、これらの制度を有効に利用され、一本でも多く植えて、財産づくりと緑豊かな郷土を建設しましょう。

（産業係）

△　△

利用できる
健保の保養所

国民年金の受給者、被保険者のかたも、左記の健康保険保養所を利用できることになりました。

一、保養所の所在地、名称

妙高高原町赤倉　銀嶺荘
村上市　瀬波
弥彦村　弥彦
松風荘
山彦荘

二、利用区分

◇宿泊　午後四時から翌日午前十時まで
◇休憩・集会　十時半から午後三時半まで。

三、利用料金

◇宿泊（一泊二食付）千円
◇休憩（一食付）　三百円

四、申込方法

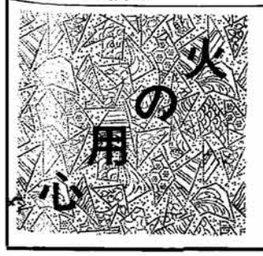
国民年金の加入者などが利用されるときは、利用日の七日前までに、はがき代七円を添えて、役場の年金係に申し込んでください。

公給領収証を受取りましょう

料理飲食等消費税は、みなさんが旅館、料理店、飲食店、バーなどを利用したときにかかる税金です。

公給領収証はみなさんが料金や税金を支払った証拠となり、税金が正しく県に納められるために欠くことのできないものです。また料金の明細を知ることができ、明朗会計につながるものです。料金を支払ったときには必ず公給領収証を受取ってください。

（長岡財務事務所）



十月の衛生行事

月日	種目	対象	ところ	とき
10・18	献血	一般	役場分館	10・0～15・0
10・19	乳児検診	一歳未満児	役場分館	13・0～15・0
10・22	生ワク投与	生後三月以上一歳未満	役場分館	13・0～15・0
10・27	糖尿病検査	一般町民の該当者のみ	町体育館	9・30～13・0
11・5	精神衛生相談	一般	役場分館	14・0～15・0
11・8	一日保健所	一般	役場分館	13・0～15・0
11・10	成人病予防集団指導会	一般	町体育館	13・30～15・0

※都合により変更の場合は関係者にご連絡します。

45年度決算のあらまし

昭和四十五年度の三島町の決算が、九月定例町議会で十月八日に認定されましたので、その概要をお知らせします。

◎決算の概要

昭和四十五年度の一般会計の決算は、歳入二億四千七百七十五万九千円、歳出二億三千百五十七万円で歳入歳出差引額一千六百十八万九千円を四十六年度に繰り越しました。

四十五年度では、特別大きな事業はありませんでしたが、住民サービスをモットーに町民税の軽減、町道消防施設等の地元寄附金の軽減（三ヵ年計画で全廃）などを行ない、また各分野にわたって計画された事業も順調に執行されました。

◎歳　入

四十五年度の歳入は前年度に比べ二％の伸びにとどまりました。

このように歳入が伸びなかった原因は前に述べた町民税の減税をはじめ、国県支出金で昨年度収入された里山パイロット事業、林道開設事業、稲作特別対策事業などの事業減によるものであります。

歳入を各科目別にみると町税では町民税を約三百万円減税し、鉱産税が昨年より百四十万円減少したため他の税目では平均一〇％程度伸びているものの全体では昨年度とほぼ同額となっています。（表2参照）

地方交付税は昨年度に比べ二八・三％と大きな伸びを示し、歳入全体の約半分を占めています。

国県支出金では、ブルドーザー購入の補助三百万円、保災害復旧事業七百万円、育所関係五百二十万円などが主なものですが、その他特別なものとして、消防自動車購入補助金、米生産調整関係補助金、里山パイロット事業補助金などがあります。

◎歳　出

四十五年度の重点施策として計画された事業は、次のとおり執行されました。

㈠ 道路の整備

町の発展に欠かすことのできない道路網の整備については、毎年積極的に推進を図っておりますが、四十五年度では更にブルドーザーを一台増設し、冬期間の道路除雪等にも万全を期す体制をとっています。

。県道の整備

舗装――中永・大野・吉崎・七日市地内

改良改修――吉崎・下河根川・七日市・新保・大野・中永・脇野町・上条地内

防雪――中永

その他河川改修、護岸復旧など九か所

。町道の整備

逆谷線四一五メートル新保線二四〇メートル焼却場線二四〇メートル鳥越下原線一六〇メートルを改良、事業費千二百万円（県より六百万円借入）

その他脇野町小学校線の舗装、湯之谷線取付、宮下町線拡巾など。

㈡ 農林業関係

。土地改良事業（補助金）

。新保排水事業（補助金）

。県単農業生産基盤整備事業（藤川かんがい排水）

。里山再開発パイロット事業（機械施設簡易林道）

。米生産調整対策

㈢ 消防施設の充実

。消防自動車ポンプ購入

。防火水そう新設二基（吉崎・藤宮）

。その他消防ホース・可搬ポンプの購入等

㈣ 教育施設の充実

。脇小窓枠補修及び教室床板張替

。三中放送施設更新

。三中自転車小屋新設

。児童生徒机、椅子購入

。三中校舎建設基金積立（二百万円）

表1　昭和45年度一般会計決算

（単位千円）

歳入 科目	決算額	歳出 科目	決算額
町税	58,195	議会費	10,542
自地交付金	4,078	総務費	54,734
使用料	120,673	民生費	19,992
国庫負担金	64	衛生費	8,062
県負担金	3,776	農林水産業費	23,370
財産収入	1,863	商工費	7,881
寄附金	17,698	土木費	37,475
繰入金	9,137	消防費	10,851
繰越金	1,376	教育費	33,812
諸収入	1,098	災害復旧費	5,823
町債	16,066	公債費	13,578
特別交付金	7,735	諸支出金	5,450
地方交付税	6,000		
合計	247,759	合計	231,570

歳入歳出差引残額　16,189千円

決算の構成（%）

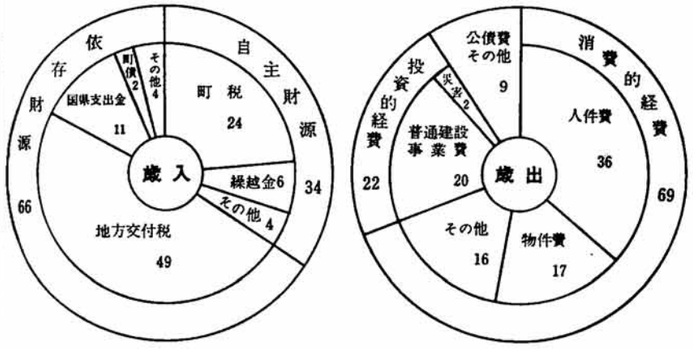


表2　町税の内訳

（単位　千円）

税目	45年度決算額(A)	44年度決算額(B)	増減 額(A)―(B)	増減 率(C)／(B)
町民税	13,491	15,451	△1,960	△12.7%
固定資産税	24,473	22,322	2,151	9.6
軽自動車税	2,487	2,263	224	9.9
たばこ消費税	7,456	6,979	477	6.8
電気ガス税	3,152	2,824	328	11.6
鉱産税	6,925	8,329	△1,404	△16.9
その他	211	295	△84	△28.5
合計	58,195	58,463	△268	△0.5

表3　財産の状況

区分	単位	44年度末	45年度中 増	45年度中 減	45年度末
土地	㎡	99,272	446		99,718
うち山林	〃	16,123	0		16,123
建物	〃	16,287	19		16,306
有価証券	千円	2,126	255		2,381
基金	〃	3,650	7,165		10,815
財政調整基金	〃	3,000	5,165		8,165
三島中学校校舎建設基金	〃	0	2,000		2,000
国民年金印紙購買基金	〃	650	0		650

表4　45年度国保会計決算

（単位　千円）

歳入 科目	決算額	歳出 私目	決算額
国民健康保険料	24,584	総務費	4,070
国庫支出金	30,755	保険給付費	47,790
繰入金	500	保健施設費	1,343
繰越金	4,521	諸支出金	1,459
その他	1,313		
合計	61,673	合計	54,662

才入才出差引残額　7,011千円

農林業振興展

文化の日　町体育館で

文化の日、十一月三日に三島町農林業振興展を体育館において開催いたします。これは農林産物の生産技術と品質の向上をはかるとともに、消費者の皆さんから新鮮な良いものをお求め頂き、また米の生産調整、転作の推進など激動する情勢を正しく見きわめ、時代に対応した施策と機械化、省力化による生産コストの引下げと主産地形成をはかり地域産業の振興のために、三島町、農業委員会、農業協同組合、農業共済組合、森林組合が共催で実施するものであります。

展示するものは、関係機関から参考となる諸資料、生産者から、稲株、玄米、大豆、小豆などの穀類。大根、にんじん、ごぼう、長いも、里いも、かんしょ、馬鈴薯、ねぎ、白菜、かんらん、かぶ、こんにゃく、玉ねぎ、ほうれん草、花やさい、しょうが、れんこん、くわい、食用菊などの野菜類。柿、くるみ、いちょうなどの果樹類。卵など。

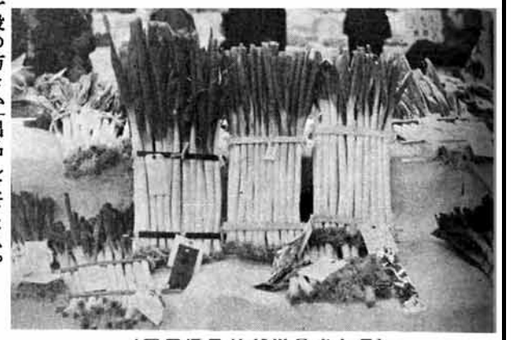
また、しいたけ、なめこ、しめじなどの林産物が出品され、展示とともに即売いたします。

日程は、十一月二日午前に搬入、午後に専門技術者による審査、十一月三日は一般の方々から観覧、即売をお願いします。

生産者の皆さん、別にお届けする出品規定により、良いものをできるだけ多く出品して下さい。

町民の皆さん、当日は是非御観覧下さるとともに即売品をお求め願います。

（産業係）



（毎年優良品が出品される）

こんなに有利な　青色申告制度

毎日の取引を帳簿につけその帳簿に基づいて正確に所得や税額を申告するかたには、所得の計算やそのほかの面でいろいろ有利な取扱いをすることになっています。これが青色申告制度です。

◎青色申告の特典

一、事業所得の五％に相当する金額（最高十万円）以下の金額を青色事業主特別経費準備金として積み立てた場合、積立額が必要経費になります。

二、家族で、事業にもっぱら従事している者（専従者）に支払う給与が、世間なみであれば専従者給与として全額必要経費になります。

三、貸倒れができたときのために、年末の売かけ金などの五・五％（金融業は三・三％）が必要経費になります。

四、商品の値下りに備えて年末のたな卸高の四％までが必要経費となります。

◎手続きと記帳の相談

青色申告ができるのは事業所得、不動産所得、山林所得のあるかたです。

青色申告をしようとするかたは、なるべく早く（年内に）「青色申告承認申請書」を提出してください。

帳簿のつけ方や決算のしかたなどがわからないときは、お気軽に税務署に相談してください。青色申告会、商工会、税理士会などでも、帳簿のつけ方などを指導していますので、ご利用ください。

（長岡税務署）

統計功労で表彰

学校町　片沼さん

多年にわたり各種の統計調査に従事された、大字脇野町の片沼栄治さんが新潟県統計協会総裁から表彰されました。

片沼さんは、昭和三十四年から十二年間、統計調査員として統計事業に貢献されました。また、この間に工業統計十回、商業統計、事業所統計を各四回、中小企業総合基本調査、国勢調査にも従事されるなど、多年にわたる功労が認められたものです。

ことに、工業統計は毎年年末現在で実施されるので降雪期の調査となり、しかも、年末年始の繁忙ななかでのご精励に対し、深く敬意を表します。

表彰状の伝達は今月二十二日午後、新潟市の県民会館で挙行されます。

コロニー募金　ご協力ありがとう

先般実施いたしました「コロニー募金」につきましては、町民各位の御理解と御協力により次のような実績となり九月十七日送金を完了いたしました厚く御礼申し上げます。

総額　一五九、二四五円

寄付者　一、五八二人

県下唯一の心身障害者更生収容施設であるコロニーに幸多かれと願うとともに温い善意が続けられることを望む次第であります。

三島町も今後数ヵ年の間毎年八月を「コロニー募金の月」とし継続実施し善意の寄附をいたしたいと考えておりますので何分の御協力をお願いいたします。

（厚生係）

青色申告と白色申告との税額等比較表

	白色申告者	青色申告者	差引	摘要
	円	円	円	
所得金額	1,500,000	1,500,000		青色特典控除前所得
青色専従者給与	—	700,000		専従者2人（妻、長男）1人当り年間給与35万円
貸倒引当金	—	50万円×5.5%　27,500		年末の売かけ金50万円
価格変動準備金	—	120万円×4%　48,000		年末のたな卸高 120万円
青色事業主特別経費準備金	—	(150万円−775,500円)×5%　36,200		事業所得の5%積立
社会保険料	48,000	48,000		48千円支払
生命保険料	37,500	37,500		5万円支払
損害保険料	2,000	2,000		2千円支払
基礎控除	187,500	187,500		
配偶者控除　妻	187,500	—		
白色専従　長男	165,000	—		
扶養控除	255,000	255,000		扶養親族子供2人
課税所得金額	617,000	158,000	459,000	
算出税額	67,900	15,700	52,200	

(注)　上記の設例で計算すると52,200円税金が安くなります。